

第4回 清川歴史公園 関所まつり開催

お子さん連れのご家族などで賑わう！

十月二十六日(日)に「第四回清川歴史公園 関所まつり」を開催しました。

毎年恒例の御殿茶屋による新そばまつりや抹茶提供、紙甲冑着付け体験の他、今回は清河八郎記念館で開催中の企画展「西遊紀事 清河八郎出島へ行く」京都遊学と長崎への旅日記」と連動したギャラリートークを初開催するなど多彩な催しをご用意しました。



紙甲冑をつけて記念撮影

【開会式】

富樫町長と齋藤副議長を来賓にお迎えして開会式を行いました。

清川歴史公園かわら版

回覧

雨天の為、館内で開会式

【御殿茶屋 新そばまつり】

御殿茶屋では、「新そばまつり」と銘打って、人気の手打ちそばや麦きり、そばぜんざいを提供しました。

お召し上がりいただいた方からは「新そば美味しかったです。コシが強く、さすがだと思いました」「そばつゆの味も美味しかったです」などお褒めの言葉をいただきました。



■発行所

○清川歴史公園
管理運営委員会

□庄内町
立川総合支所
立川地域振興係
TEL:0234-56-2217

○庄内町
「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会

□庄内町教育委員会
社会教育課
TEL:0234-43-0194

大好評の手打ちそば

【御抹茶と上生菓子で一服】

館内では御抹茶とあづまや菓子舗さん製造の上生菓子を提供しました。

当初は外でお茶席を設ける予定でしたが、雨天の為館内へ変更。畳席でゆったり寛ぎながらお過ごしいただくことができました。



御抹茶と上生菓子を提供

当日は生憎の空模様となりましたが、大勢のお客様にご来場いただき、会場は活気にあふれました。

また前々日には、YTS山形テレビによる生中継で清川関所や関所まつりを紹介していただき、多くの方に関心を寄せていただく機会となりました。





庄内町史資料第七号

「清河八郎関係日記一」
『西遊紀事』より



①

今回は、令和六年九月に発刊した「清河八郎関係日記一」中の『西遊紀事』編から、一部抜粋して掲載します。

●「庄内町史資料第七号」

八十五頁 上段より

七月三日 晴

早朝に、京都を出発する。宿舎の主人沢渡精齋（画家。内蔵察の史生）の夫人時子が壮行の杯を勧める。三杯飲みほしてから、辞謝して出かける。八木氏の家族が見送りに就いて来る。道を東洞院に取り、六条に至って、舟を求め、高瀬川に浮かぶ。待得秋風發鳳城。鳳城を發する秋風を待ち得て、孤行を送る。稲波濤々送孤行。孤行を送る。遥波萬里爺嬢感。爺嬢の感。遙かに憂ふ。萬里。爺嬢の感。るを。

難言夜来夢裡情
言ひ難し 夜来 夢裡の情

秋風が立つのを待つて京都を出発した。稲がざわざわと波立って、一人旅を送るかのよう。萬里の遠き故郷にある父さん・母さんがさぞ私を心配しているだろうと沈み込むが、夜中の夢に見る感情は、なかなか表わしがたい。



維新の魁
清河八郎を大河ドラマに！

「清河八郎」を主人公とする大河ドラマの実現を目指し、平成三〇年五月に「清河八郎」大河ドラマ誘致協議会を設立しました。現在、清河八郎を多くの人に知ってもらいたい！という願いのもと、周知活動を行っています



見える。明智光秀が誅に伏し、羽柴秀吉氏が覇を得るきつかけとなつた所で、今もなお恨みが残るようだ。柁を数回取ると、京都はもう後方の山裡に没している。淀城に至れば、松に囲まれた城郭が河に臨み、緑陰が藪を掩つていて。舟で過ぎると、水車が大層多い。中で淀城に懸る者が最大である。舟は橋本に至り、右を顧みると松堤が連なり、朦朧として果てが見えない。中で最も蟠かまつて、

翠色鮮やかな者を、千両松という。紀州藩主が嘗て之を愛し、この名で評価したという。これより前に詩を作った。

長堤十里水雲清
長堤十里水雲清し
兩岸秋風度蟬聲
兩岸秋風度蟬聲度
欽乃歌休眠漸熟
欽乃歌休眠漸熟
蓬窓夢遠故園情
蓬窓夢遠故園情
故園の情

明治維新の魁
清河八郎

一幕末の扉を開いた
草莽の志士

YouTube
でご覧いただけます



好評販売中！！
庄内町史資料第七号
清河八郎関係日記一



販売価格
1,400円

お求めは、
庄内町社会教育課
(Tel.0234-43-0183)
までご連絡ください。
※清河八郎記念館、
清川関所でも販売し
ています。(3～11月)

堤が長々と十里も続き、水や雲は清らかだ。清らには秋風が吹き、蟬の音が響き渡る。船頭歌が止んで、次第に眠りに入り、苦舟の窓辺で遠く故郷の夢を見ることがだ。
(七絶。韻字、清・声・情)
第二句は、護園派の文人の領袖たる服部南郭（萩生徂徠門人）の有名な七絶「墨水（墨田川）を下る」の「兩岸の秋風 二州を下る」を踏まえる。

歴史講座 in 清川 (第2回・第3回) 開催

今年度開催中の企画展示「激動の幕末維新〜庄内が見た戊辰戦争と明治天皇東北巡幸〜」に合わせて、九月十八日(木)と十一月十八日(火)に歴史講座in清川を開催しました。

両日とも庄内地域のみならず、内陸方面からも多くの方にご参加いただきました。また講座終了後には、まち歩きを交えた歴史散歩もお楽しみいただきました。



九月十八日(水)の第二回講座では、山形大学人文社会学部准教授の小幡圭祐氏を講師にお迎えし「飽海郡役所資料で読み解く明治天皇東北巡幸」と題して講義

いただきました。

明治十四年(一八八二)九月に行われた「明治天皇の東北巡幸」について、酒田市に残る「飽海郡役所」史料から庄内における巡幸の姿を解説いただき、人々が天皇をお迎えする準備に奔走した様子がよく分かりました。



十一月十八日(火)の第三回講座では、上山郷土資料館の長南伸治学芸員を講師にお迎えし、「戊辰戦争期の庄内藩・上山藩の動向」と題して、官軍と奥羽越列藩同盟側の動き、また明治以降に繰り広げられた評価論争について、豊富な史料をもとに分かりやすくお話しいただきました。今年度の歴史講座はこれで終了となります。来年度も開催できるよう準備を進めます。

歴史の里のおもてなし 〜ガイドの会より〜

今年一年を振り返って

今年のまち歩きは十一月十八日で終了となりました。夏は熱中症警戒アラートが何度も発令され、まち歩きも日陰を選んで歩いたり、また水分補給に気を使ったり、色々と気を配ることが多かったようです。

秋には、熊出没情報が多発し、清川地区内でも目撃情報が出されました。ガイドの時は熊鈴を持ち、クラッカーを鳴らしたりして、予防対策を致しました。無事一年の活動を終えることが出来良かったと思います。

今年のガイド回数は十八件で、その内四件は県外からのお客様でした。また、目的で特長だったのは「戊辰戦争清川口の戦い」でした。歴史講座でテーマとしたことも理由のひとつだと考えられます。戦いが終わってから百五十年以上を経て

も、人々の関心を引く歴史的
事実は、清川の素晴らしい財
産だと感じました。
来年度も沢山のお客様を迎
えられることを期待したいと
思います。

官軍の本陣・腹巻岩



【会員募集】

きよかわ観光ガイドの会

私たちと一緒に清川を案内する仲間になりませんか。
お客様と一緒にまち歩き(ウォーキング)は健康にも良いです。

「お問合せ」 清川関所(電話)
〇二三四―二五―五八八五

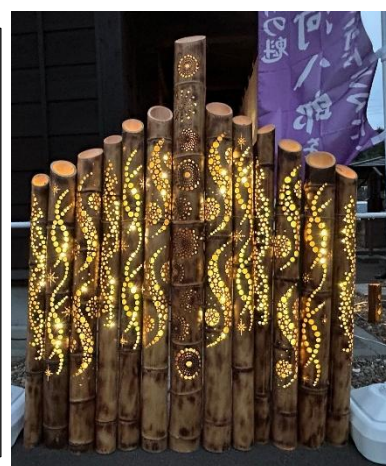
きよかわマルシェ＆なんでろ夜市

十月四日（土）清川グラウンド
および清川関所周辺にて「きよ
かわマルシェ＆なんでろ夜市」
を開催しました。



きよかわマルシェ・昼の部

会場にはキッチンカーやテン
トブースが並び、台湾料理、焼き
鳥、スイーツなど多彩なメニュー
が並んで大いに賑わいました。
パフォーマンスの披露やクラ
フト・小物の販売なども行われ、
訪れた皆さんが思い思いに楽し
む姿が見られました。



清川関所玄関前の竹灯籠

また夕方五時からは「竹灯籠」
の柔らかな灯りが関所周辺を彩
り、庄内を中心に活動されてい
る「ヒバリズ」のおふたりによる
音楽演奏とともに幻想的な夜の
雰囲気をつくり出しました。



ヒバリズの演奏を楽しむ方々

【清川地区感謝デイ開催】
―地域の皆さまと音楽と読
み聞かせ・食事を楽しむ―

九月二十四日（水）からに二十
六日（金）まで、清川地区の住民
の皆さまを対象に、毎年恒例の
「感謝デイ」を開催しました。

今回は、読み聞かせ活動をさ
れている皆さんによる絵本朗読
や、庄内地域で大正琴を演奏さ
れている「はなみずき」の皆さん
による演奏を行いました。



大正琴の演奏を楽しむ

また、御食事処「御殿茶屋」
からは東風そばや温かい肉そ
ば・肉うどんを提供し、会場に
お越しいただいた皆さまとと
もに、懐かしの昭和歌謡や童謡
を合唱しながら、和やかなひと
ときを過ごしました。

温かい肉そば



【冬期休業のお知らせ】

三月一日より営業再開

清川歴史公園は十二月一日
（月）から翌年二月二十八まで
冬季休館となります。三月一日
より営業を再開いたします。

皆さまのご来所を心よりお
待ちしております。